

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
4	松木 丈浩 伊藤 重信	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（数研出版） 新課程 ニュースタANDARD数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ受験編(数研出版) 共通テスト実践問題 パックⅤ数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(駿台文庫)
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		

◆学習の目標

数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの内容を深く理解し、問題演習をすることにより、国公立大の2次試験及び私立大の記述試験に対応できる能力を養う。

◆主な学習内容・方法

(1) 数と式 (2) 2次関数と方程式・不等式 (3) データの分析 (4) 場合の数・確率
(5) 図形の性質 (6) 数学と人間の活動 (7) 式と証明 (8) 複素数と方程式
(9) 図形と式 (10) 三角・指数・対数関数 (11) 微分法・積分法 (12) 数列
(13) 統計的な推測 (14) ベクトル

◆到達目標と観点別評価の評価規準

数学的に考える資質・能力を身に付けているかを、数学ⅠⅡⅢⅣの問題演習をとおして次の観点でみることで評価する。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理する技能を身に付けることができる。

○思考・判断・表現

問題を数学的に考察して解決に至ったり、解法の過程や結果を多角的に考察する力を養い、思考の過程を振り返りながら発展的に考え、解法を見つけていくことができる。

○主体的に学習に取り組む態度

数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり改善しようとする態度や積極的に数学を利用しようとする姿勢を見ることができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	140時間	1学期（52時間）	2学期（56時間）	3学期（32時間）
------	-------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・演習中心の授業なので、予習として問題を解いておくこと。
- ・演習で板書した解答の過不足を吟味し、正確で簡潔な解答を書けるようにする。
- ・解けた問題でも、他の解法や別の角度からの発想を常に考える習慣を付ける。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	数学Ⅰ	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 ・2次関数と方程式・不等式 ・データの分析 ・場合の数・確率・図形の性質 ・数学と人間の活動 ・式と証明・複素数と方程式 ・図形と式・三角・指数・対数関数 ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル 	<p>問題集を解き、基本的な考え方や知識の定着をする。</p> <p>個々の問題に対する理解だけでなく、定理の成り立ちを理解する。</p> <p>担当の問題を解説することにより理解度を高める。</p>
	5	数学A	8		
		数学Ⅱ	1 5		
		数学B	1 0		
	6	数学C	7		
2 学期	7				
	8	数学Ⅰ	5 6	<p>国公立大の2次試験及び 私立大の記述試験対策</p> <p>入試問題演習</p>	<p>大学入試問題を柔軟に考え、解くことができる。</p> <p>問題を解く過程を振り返って考察を深めることができる。</p> <p>問題を様々な角度から問題を分析できる。</p>
		数学A			
	9	数学Ⅱ			
	10	数学B			
	11	数学C			
3 学期	12				
	1		3 2	<p>国公立大の2次試験及び 私立大の記述試験対策</p> <p>入試問題演習</p>	<p>大学入試問題を様々な視点から柔軟に数学的論拠に基づいて解くことができる。</p>
	2				
	3				